

海幕総第1713号

56 . 4 . 7

一部変更	海幕総第3266号	(56 . 7 . 15)
	海幕総第3949号	(56 . 9 . 1)
	海幕総第4817号	(56 . 10 . 31)
	海幕総第1207号	(57 . 3 . 27)
	海幕総第2181号	(57 . 6 . 10)
	海幕総第3338号	(57 . 8 . 17)
	海幕総第3939号	(57 . 10 . 1)
	海幕総第329号	(58 . 1 . 28)
	海幕総第1265号	(58 . 3 . 30)
	海幕総第2722号	(58 . 7 . 1)
	海幕総第1617号	(59 . 4 . 11)
	海幕総第2859号	(59 . 6 . 30)
	海幕総第1380号	(61 . 3 . 19)
	海幕総第1526号	(62 . 3 . 25)
	海幕総第3387号	(62 . 7 . 1)
	海幕総第5802号	(62 . 11 . 27)
	海幕総第1766号	(63 . 4 . 8)
	海幕総第1814号	(63 . 4 . 8)
	海幕総務第2640号	(1 . 5 . 29)
	海幕総務第2953号	(2 . 6 . 8)
	海幕総務第4537号	(2 . 9 . 10)
	海幕総務第1449号	(3 . 3 . 29)
	海幕総務第1766号	(3 . 4 . 12)
	海幕総務第4650号	(3 . 10 . 4)
	海幕総務第644号	(4 . 2 . 12)
	海幕総務第1862号	(4 . 4 . 10)
	海幕総務第1372号	(5 . 3 . 22)
	海幕総務第1625号	(5 . 4 . 1)
	海幕総務第2876号	(6 . 6 . 24)
	海幕総務第1365号	(7 . 3 . 29)
	海幕総務第2881号	(7 . 6 . 30)
	海幕総務第216号	(9 . 1 . 20)
	海幕総務第1344号	(9 . 3 . 24)
	海幕総務第5703号	(10 . 12 . 8)
	海幕総務第1059号	(12 . 3 . 3)
	海幕総務第2186号	(12 . 4 . 27)
	海幕総務第29号	(13 . 1 . 6)
	海幕総務第1319号	(13 . 3 . 2)
	海幕総務第1771号	(13 . 3 . 22)
	海幕総務第3847号	(13 . 6 . 26)
	海幕総務第4483号	(13 . 7 . 30)
	海幕総務第1156号	(14 . 3 . 4)
	海幕総務第1543号	(14 . 3 . 20)
	海幕総務第1601号	(15 . 3 . 20)
	海幕総務第1199号	(17 . 2 . 28)
	海幕総第1956号	(18 . 3 . 27)
	海幕総第2303号	(18 . 4 . 3)
	海幕総第4748号	(18 . 7 . 25)
	海幕総第1676号	(19 . 3 . 7)
	海幕総第5800号	(19 . 8 . 20)
	海幕総第2207号	(20 . 3 . 25)
	海幕総第6218号	(21 . 7 . 31)
	海幕総第2490号	(22 . 3 . 24)
	海幕総第2471号	(24 . 3 . 16)

海幕総第4829号(25. 5. 24)
海幕総第1290号(27. 10. 1)
海幕総第1608号(27. 11. 30)
海幕防第469号(29. 11. 1)
海幕総第437号(30. 3. 15)
海幕総第1146号(令和2年 9月30日)
海幕総第268号(令和4年 2月28日)
海幕総第349号(令和4年 3月17日)
海幕総第465号(令和4年 4月 1日)
海幕総第125号(令和5年 1月31日)
海幕総第438号(令和5年 3月31日)
海幕総第311号(令和6年 3月 7日)
海幕総第369号(令和6年 3月19日)

各部隊の長
各機関の長 殿

海上幕僚長

命令等及び通達類の宛先及び写送付先等の記載順序について(通達)

標記について、別表のとおり定める。

なお、海幕総第255号(32. 5. 23)は廃止する。

内部部局

施設等機関（防大、防医大、防研の順）

各幕僚監部（統幕、陸幕、空幕の順）

統合幕僚学校

陸上自衛隊の部隊及び機関（体育校、中病、陸上幕僚長の監督を受ける自衛隊地区病院及び地本を含む。）

航空自衛隊の部隊及び機関（航空幕僚長の監督を受ける自衛隊地区病院を含む。）

共同の部隊（自情保、自サ防隊、派遣海賊対処行動航空隊及び派遣海賊対処行動支援隊を含む。）

情報本部

防衛監察本部

地方防衛局

防衛装備庁

海上幕僚監部

各部隊の長

各機関（海上幕僚長の監督を受ける自衛隊地区病院を含む。）の長

自衛艦隊司令官

護衛艦隊司令官

航空集団司令官

潜水艦隊司令官

掃海隊群司令

各地方総監（横須賀、呉、佐世保、舞鶴、大湊の順）

教育航空集団司令官

練習艦隊司令官

システム通信隊群司令

海上自衛隊警務隊司令

海上自衛隊潜水医学実験隊司令

東京音楽隊長

海上自衛隊東京業務隊司令

海上自衛隊各学校長（幹校、候校、1術校、2術校、3術校、4術校の順）

海上自衛隊補給本部長

海上自衛隊艦船補給処長

海上自衛隊航空補給処長

海上自衛隊航空補給処下総支処長

自衛隊横須賀病院長
自衛隊呉病院長
各護衛隊群司令（番号の順）
海上訓練指導隊群司令
各航空群司令（番号の順）
各潜水隊群司令（番号の順）
艦隊情報群司令
海洋業務・対潜支援群司令
開発隊群司令
各教育航空群司令（下総、徳島、小月の順）
作戦情報隊司令
電磁情報隊司令
海上システム開発隊司令
技術評価開発隊司令
航空プログラム開発隊司令
各護衛隊司令（番号の順）
各海上訓練指導隊司令（横須賀、呉、佐世保、舞鶴、大湊の順）
水上戦術開発指導隊司令
各潜水隊司令（番号の順）
各掃海隊司令（番号の順）
特別警備隊長
第1海上補給隊司令
第1海上訓練支援隊司令
第1海洋観測隊司令
第1音響測定隊司令
第1練習隊司令
潜水艦教育訓練隊司令
各潜水艦基地隊司令（横須賀、呉の順）
第1輸送隊司令
水陸両用戦・機雷戦戦術支援隊司令
各基地隊司令（阪神、下関、沖縄、函館の順）
各教育隊司令（横須賀、呉、佐世保、舞鶴の順）
各警備隊司令（横須賀、呉、佐世保、舞鶴、大湊の順）
各防備隊司令（対馬、余市の順）
各ミサイル艇隊司令（番号の順）

各弾薬整備補給所長（横須賀、呉、佐世保、舞鶴、大湊の順）
各造修補給所長（横須賀、呉、佐世保、舞鶴、大湊の順）
各基地業務隊司令（横須賀、呉、佐世保、舞鶴、大湊の順）
各衛生隊司令（横須賀、呉、佐世保、舞鶴、大湊の順）
各音楽隊長（横須賀、呉、佐世保、舞鶴、大湊の順）
父島基地分遣隊長
稚内基地分遣隊長
各システム通信隊司令（中央、横須賀、呉、佐世保、舞鶴、大湊の順）
第1航空修理隊司令
移動通信隊司令
保全監査隊司令
対潜資料隊司令
対潜評価隊司令
各海洋観測所長（沖縄、下北の順）
鹿児島音響測定所長
各システム通信分遣隊長（厚木、下総、館山、岩国、大村、鹿屋、那覇、八戸の順）
船越保全監査分遣隊長
航空管制隊司令
機動施設隊司令
各航空隊司令（番号の順）
各教育航空隊司令（番号、小月の順）
各整備補給隊司令（番号の順）
標的機整備隊司令
各航空基地隊司令（鹿屋、八戸、厚木、硫黄島、那覇、館山、大村、岩国、下総、徳島、小月の順）
各艦長（船舶の種別、番号の順）
各艇長（船舶の種別、番号の順）
各地方警務隊長（横須賀、呉、佐世保、舞鶴、大湊の順）
佐世保水上戦術開発指導分遣隊長
横須賀潜水艦教育訓練分遣隊長
呉水陸両用戦・機雷戦戦術支援分遣隊長
各警務分遣隊長（東京、那覇の順）
各基地分遣隊長（由良、佐伯、奄美、新潟の順）
船越基地業務分遣隊長

硫黄島航空分遣隊長

仮屋磁気測定所長

各警備所長（壱岐、上対馬、下対馬、松前、竜飛の順）

南鳥島航空派遣隊長

第1音響測定隊各クルー長（番号の順）

注：この表の順序によった場合、海上自衛隊の編成等に関する訓令（昭和42年海上自衛隊訓令第1号）上の順序と逆転して不具合があるときは、同訓令上の順序によることができる。